TTC提案山行実施記録表

2010年5月5日　報告者:佐々木

山行名	鳴虫山と霧降高原隠れ三滝巡り　［1104m／栃木県］
実施月日	平成 22年 5月 1日(土)～2日(日) ［1泊2日］　交通手段:マイクロバス
天候／参加人員	天候: 晴　レベル:★★　参加人員(申込: 15名、参加: 15名)
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	CL:　SL:　救護:　会計／計画:　ﾄﾞﾗｲﾊﾞ:　氏　名　削　除
参加メンバ	氏　名　削　除 (男性5名／女性10名)
費用 15，800円 TTC積立金 1，330円	支出: ﾏｲｸﾛﾚﾝﾀﾙ料:40,000×2=80,000円、謝礼:18,000×2+早朝1,000+宿泊2,000=39,000円、 燃料代:@115×(240+50)÷5×2=13,340円、 高速代:東名1450×2=2,900円、首都高680+500=1,180円、東北道2,400+3,550=5,950円、 日光道400×2=800円、民宿代:@5,500×16=88,000円、ﾋﾞｰﾙ:500×7=3,500円、 通信費:1000円、支出合計:235，670円、集金:15,800×15=237,000円、 237,000-235,670=1,330円(積立金)
実行ｺｰｽﾀｲﾑ	**◆5/1(土)晴** 本厚木 ==== 東名IC ==== 港北PA ==== 東京料金所 ==== 大橋JC ==== 浦和料金所 === 6:13　6:16　6:32 6:40　6:45　7:28　8:10 0.13　0.40　1.00 蓮田SA ==== 大谷PA ==== 宇都宮JC ==== 登山口 ----天王山神社---- 神主山---- 8:20　8:32　10:05 10:15　10:16　10:40　10:52　11:05　11:45(昼食)12:10 0.17　0.23　0.33　0.40　0.13　0.12 1058mﾋﾟｰｸ ---- 鳴虫山山頂----- 合峰 ----- 独標 ----- 林道 ----- 含満ｹ淵 ----- 13:10 13:20　13:37 13:50　14:13 14:20　15:03 15:15　15:55 16:05　16:18 0.10 含満淵公園 ----- バス駐車場所 =====霧降高原「 民宿りんどうの家」(泊) 16:30(体操)16:40　16:50　17:10 **◆5/2(日)晴**　1.00　0.10　0.02　0.20 りんどうの家 === 霧降滝入口 --- 丁字ノ滝 ----玉簾ノ滝 --- 展望台 --- マックラ滝-- 7:50　8:00　8:10　9:10　9:15　9:25 9:40　9:42 9:50　10:10(昼食)10:55 0.45　0.10 ---- 霧降滝入口 ----- 駐車場 ==== 日光道路入口 ==== 宇都宮IC ==== 佐野SA ==== 11:40　12:00　12:10　12:35　12:50　13:20　13:45 港北PA ==== 本厚木 15:05　15:20　15:45

歩行／行動時間

	歩行時間	休憩時間	行動時間	2日目:コース変更
ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	①4:00			①:1日目
計画時	①4:05／②ー	①0:55／②ー	①5:00／②ー	②:2日目
実行時	①4:21／②2:27	①1:37／②1:33	①5:58／②4:00	

コースの概要 特記事項 反省事項・等 アカヤシオがきれいに咲いていた。 鳴虫山の頂上に近づくほど多くなる。	**◆5/1(土)晴** 明日は晴れて行楽日和と、昨日のテレビで余計な放送をしていたので、今日は渋滞を覚悟していた。確かに良い天気である。しかし首都高も順調で大橋JCへ入ると車はあまり見当たらない。出口付近で少し渋滞があった程度でホッとしたが、東北道も順調に進んでいたのに羽生の先、利根川の橋で乗用車6台の玉突き事故、せっかくスムーズに来たのにここを通過するのに45分も掛かってしまった。 それでも登山口には計画表通り到着、準備体操をしても出発は10分程度余裕が出た。バスの中で今日のコースをまとめたものを配布、全員でそれを読み把握してから歩き始めたので、なんとなく雇われリーダーとしては肩の荷が下りた感じがした。 登りはじめて少しの所に山王山神社の小さな祠があり、脱ぎタイム、天気がいいので暑い、ばてないように、のんびり歩くことにした。神主山(こうのすやま)で第2回の昼食、1回目はバスの中で済ましている。ここは今日のコースで一番展望の良い所なので、ゆっくりラーメンを頂くことにした。鳴虫山は頂上に雲がかかると必ず雨が降ると云われていると云う、しかし今日は全くその心配はなさそう。神主山を計画表通りの時間に出発、ところが計画表の40分歩いても到着しない。「あのピークが頂上だよ」とピークのたびに嘘をついてしまい、またまた信用を失ってしまった。登山地図を見ると鳴虫山まで1時間10分とある、計画したＩさんに八当たり、頂上へ着いてみれば登山地図の時間ぴったりで歩いたことに。自分の歩行速度が正しかったと密かに腹を張る、いや胸を張る。写真を撮る時だけは一生懸命お腹をへっこまして胸を張ることにした。 それでもアカヤシオがとてもきれいに咲き、足元にはカタクリの花が咲く。途中下ってきた男性が反対側は下りがきついぞと脅かしていた。みんな心配になったみたい。「大丈夫、きつくないよ」「ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸには子供連れに最適な山と書いてあるよ」と言うが信用されないみたい。

りんどうの家
宿泊2食付で
5，500円は安い
シャンプー、石鹸
たおる、寝巻きは
あり、歯ブラシも
ついている。
食事も満足。
絶対お得な宿

レンゲツツジは
まだつぼみが固
く時期的に早い

カタクリ
まだ少し早いの
かも、山の上は
葉がちいさい
下は咲いていた

鳴虫山は展望が無いように書いてあったが、男体山や女峰山側の木が伐採され、展望台まで設置されていた。
頂上には「栃木百名山・鳴虫山」と書いてある。なるほど「山梨百名山」はよく聞くけど栃木にもあるんだと感心する。
ここにもアカヤシオが濃いピンクの花を付けている。シロヤシオもあるらしいが見当たらない。咲く時期が違うらしくまだこれからなのだろう。
頂上からは含満公園方面へ下る。今朝バスの中で、急坂を木に掴まりながらの下りと説明していたので、覚悟していたが大したことは無く、普通の急坂でガイドブックに書いてあった木に掴まりながらと云う箇所にはりっぱな板の階段が設置されてあった。
気持ちの良い尾根道を下るとまもなく合峰に到着、ここには古い石祠が祀ってあり、千年以上の昔から修行の山だったことを偲ばせてくれる。
下山にはもう登りはないと思った人もいて、また登るのかいとブーイング、ピークが5箇所あると言うと覚悟をしたようだ。
登りきった所が独標、展望はないが休憩には最適な場所、計画より1時間遅れのため、バスで待っているＩさんに電話し、待っている場所を確認、下山開始。
まもなく林道へ出てそこを横断してまた林道に飛び出す。そこも突っ切り、新緑の中を気持ち良く下ると発電所の前へ、発電所は半地下に建物があり、太い導水管がつながっていた。
日光道路の下をくぐり抜けて石段を降りるとそこは含満淵、渓谷がとても美しい所である。
そこには大きな石地蔵が苔むしてずらりと並んでいて、時代を思わせる。70体あるそうだが、行きに数えて、帰りにまた数えるとどうしても数が合わないことから「化け地蔵」と云われる。
含満公園には桜がちょうど見ごろ、ソメイヨシノが今満開を迎えシダレザクラと共に見事に咲いていた。今日はここまで、後は民宿へ行っておいしいビールが待っている。しかし、値段が値段だけにおかずはあるのかなあと心配する人もいて、「味噌汁とお新香があれば上等だよ」と言ってはみたが、あまり期待しないでおこう。
ところが、夕食のおかずはテーブルいっぱいに並んでいて、まだてんぷらが出ますと言われ、みんなびっくり。外国人の泊り客が多いらしく、ロビーには外人の礼状などびっしり張ってあった。格安の為、シャンプーや寝巻きは無いと思ったらすべて用意されていた。みんな寝巻きを持ってきたが使わずにすんだ。

◆5/2（日）晴

宿のおかみさんと今日のコースと温泉の情報を聞くと、お昼過ぎには下った方が良いらしい午後になると道路は混雑して全く動かないと云う。急きょ大山を取り止め、隠れ三滝めぐりに変更することにした。霧降滝入口の駐車場（無料）は朝早いのでがら空き、おみやげ屋の主人に今日のコースを聞くと、「真直ぐ登って右に曲がり左に曲がり、丸太の橋を渡ったら左に行く、沢が二股になったら左の沢に入る、分かったら復唱してみな」まるで試験を受けているみたい。「間違ったら笑われるぞ」と脅されてしまった。言われた通り進むがあまり歩かれていないようで道はかなり荒れていた。道標はあるがすべて大山方面とあり、隠れ三滝の文字はない。
かなり歩いてから「丁字の滝ってあるよ」と言われ小さな看板が木に付いていた、木に付いていても（気）がつかないとはこのことか。丁字滝から元へ戻り玉簾滝はすぐにあった。なるほど水は大きく広がってスダレの様に落ちている、誰かが滑り台みたいに滑ったら気持ち良さそうと言う。登山道へ戻るとすぐ上に観瀑台があり、そこからは滝全体が眺められる。
牧場の柵に沿ってしばらく行くと牧場専用道路に飛び出し、そこを突っ切り沢に出て、その沢を渡った先がマックラ滝であるが、その沢には2本の細い丸太が渡してあるだけ、丸太が転がってしまい渡りにくい、なんとか男性2名は渡ったが女性にはとても無理、どうしようかと思っていたら10mほど上流に丸太の頑丈な橋があって「こっちにいい橋があるわよ」ともうさっさと渡っている。なんだ、苦労して渡ったのに、でも良かった、その橋が無かったら滝を遠くからしか見えない。
滝見物を終え、再び沢を渡って戻ったところが芝生の広場みたいになっているので少し早いが昼食の時間にした。昨日民宿で買ったカップラーメン（150円）と、朝ごはんの余りをおかみさんがおにぎりにしてくれたのを頂く。実は4個しかなく、今回はリーダなど係りで分けることにした。
帰りは牧場専用道路を少し下り、再び山道へ入る、我々の前をアベックが道路をてくてく歩いて行く、道路歩きは辛いだろうにと思いながら山道をひたすら登り一山越えて道路へ出る所の道が崩れてなくなっている。仕方なく急な坂を木につかまりながら降りようと下を見ると、さっきのアベックが道路をさっさと歩いて行く。「ちくしょう、こんなに苦労して登ったのに」近道と思ったのが近くなかった。
霧降道路へ出てまた山道へ入り、そこから間もなくで今朝登りはじめた所へ到着。女性たちはそこの店で野菜を買っていて、男性はソフトクリームをほうばる。この暑さでのアイスはとてもおいしい。
帰りに入る予定の温泉へ電話すると、午後2時から開店だそうで、現在12時を過ぎたばかり、温泉はあきらめ、道路の混まない内に帰ることにした。日光市内へ出るとものすごい渋滞、信号が青になっても前へ進めない。この交差点さえ渡れれば、我々が帰る方向には車はない。やっとのことでそこを過ぎるとあとはスムーズ、東北道も首都高もすいすい、途中サービスエリヤで

	のんびりしても、厚木には午後4時前に到着。早いから鳶尾山でも行こうかと冗談も出る。 二日間、派遣社員のリーダーにお付き合いくださりありがとうございました。